

旧二葉中学校校舎利活用基本構想・基本計画
策定支援業務仕様書

新 潟 市

1 業務名

旧二葉中学校校舎利活用基本構想・基本計画策定支援業務

2 概要

大規模跡地利活用の一つである旧二葉中学校舎を改修し、現大畑少年センターに国際機能を付加した（仮称）国際青少年センター（以下「青少年センター」という。）及びアーティストやクリエイターの創造活動の拠点となる（仮称）芸術創造ファクトリー（以下「創造ファクトリー」という。）を整備

構想・計画の策定については学識経験者や民間団体等で構成する策定検討委員会を設置し、施設の構想・計画を策定する。

（注）基本設計・実施設計の発注については、当該業務の契約締結者との随意契約を予定しますが、H27年度予算の範囲での取り扱いとなるため、お約束するものではありません。

3 背景

- 平成26年4月に新潟市中央区栄町の舟栄中学校と中央区二葉町の二葉中学校が統廃合され、未使用となった旧二葉中学校校舎利活用について検討
- 中央区東大畑通2番町の大畑少年センターの老朽化に伴い、同施設の機能を旧二葉中学校へ移転
- 文化芸術が有する創造性を活かしたまちづくりの一環として、文化芸術の担い手が相集い、練習・制作・研修など創作活動ができる場を提供として、創造ファクトリーを整備

4 整備方針

青少年センター及び創造ファクトリーの整備方針として、以下の機能を設ける。

【青少年センター】（現在大畑少年センターは、小・中学生を対象としているが、青少年センターは高校生まで対象を拡大）

- 自然体験や集団活動などの体験活動を通じて、青少年の豊かな人間性を育む場の提供
- 世界各国の青少年との交流できる場を通じて、相互理解と友好を深め、広い国際的視野を養う機会を提供し、異文化や習慣をもった人々と信頼関係を築きながら生きていける青少年の育成

【創造ファクトリー】

- アーティスト・クリエイターの創作活動（レジデンス等）・情報発信の拠点
- 異なるジャンルの創作活動による新たな文化芸術の創造
- アーティスト・クリエイターと地域及び市民交流の場
- アーティスト・クリエイターの起業に向けたマッチングの場

5 施設所在地

新潟市中央区二葉町2丁目5932番地

6 施設改修規模・条件

【構造・規模】

旧校舎棟：鉄筋コンクリート造4階建て 延べ面積 4,127 m²

旧体育館棟：鉄筋コンクリート造平屋建て一部2階建て 延べ面積 1,948 m²
(旧体育館棟に渡り廊下を含む)

【両施設の使用面積】

青少年センター：旧校舎棟2～4階部分 3,077 m²

旧体育館棟1～2階分 1,948 m² (渡り廊下含む)

創造ファクトリー：旧校舎棟1階部分 1,050 m² (共用部分含む)

【条件】

既存建物（構造物）の改修を基本とする。但し、体育館部分については改修なし

7 策定検討委員会

策定検討委員 10名程度

H27年12月末までに計6回開催、11月を目途にパブリックコメントを実施

8 全体スケジュール（予定）

○青少年センター

H27年度：基本構想・基本計画、基本設計・実施設計

H28年度：改修工事

H29年度：改修工事、供用開始（夏季）

○創造ファクトリー

H27年度：基本構想・基本計画、基本設計・実施設計

H28年度：改修工事、利用者募集

H29年度：改修工事、供用開始（夏季）

8 業務の目的

青少年センター及び創造ファクトリー整備に向けて、基本構想・基本計画の策定及び策定検討委員会の運営を含めた支援業務

9 業務内容

以下の各号の業務を確実に遂行すること。

(1) 計画準備

本事業の背景等を把握、整理し、構想検討に必要な資料や調整の必要な関係機関、検討委員会の位置づけ、事業スケジュール等を整理する。

(2) 現状の整理

① 旧二葉中校舎の状況

敷地の位置や形状、地形等の立地条件、既存建物の状況および、周辺施設の状況等を把握、整理する。

② 関連計画・事業等の整理

「新潟島賑わい創出プラン」に位置づけられた諸事業や、水と土の芸術祭など関連する事業、市内公共施設等の状況等を整理する。

③大畑少年センターの状況

機能移転を予定する大畑少年センターの機能や利用状況等を把握する。

④社会状況

(仮称) 国際青少年センターや(仮称) 芸術創造ファクトリーに関連する社会状況を把握、整理する。

(3) 先進事例・アンケート調査

①本計画の参考となる国内事例を複数件ヒアリング調査し、概要を整理する。

②現大畑少年センター利用者のアンケート実施・分析及び地元要望等、構想・計画へ反映させる。

(4) 前提条件の整理

諸状況および先進事例調査や大畑少年センターの利用者年齢の拡大等を踏まえて、本構想立案上の前提条件を整理する。

(5) 基本構想の策定

①基本方針の検討

前提条件を踏まえて、基本コンセプトと整備の考え方を整理する。

②導入機能の検討

基本方針に沿って、導入すべき機能について、大畑少年センターおよび他事例も参考として整理、抽出する。

③ゾーニング検討

既存建物や土地形状等も勘案し、機能配置(ゾーニング)を検討する。

④導入施設の検討

導入機能をもとに、導入すべき施設の種類の検討する。

⑤運営管理に関する検討

施設運営管理のあり方を検討する。

⑥基本構想のとりまとめ

以上をとりまとめ、基本構想書を作成する。

(6) 基本計画の策定

①必要諸室、規模の整理

基本構想で位置づけられた導入施設を確保するための必要諸室を定め、その規模等の検討を行う。

②施設配置、平面計画

前項で検討結果をもとに、施設配置、平面計画を行う。

③構造計画

整備・改修部分について、構造形式等の比較検討を行い、整備案を決定する。

④設備計画

主要な設備について、設備方式等の整理を行う。

⑤関係法令の確認・検討

各計画に基づき、関係する法令等の確認を行い、適合性を検討する。

⑥概算工事費の算出

整備・改修の概算工事費の算出を行う。

⑦整備工程の検討

設計から建設までの整備工程の作成を行う。

⑧基本計画のとりまとめ

以上の検討結果をとりまとめ、基本計画を作成する。

(7) 事業性検討

①事業スキームの検討

基本構想および基本計画の検討経過と整合をとりながら、想定される各施設の整備や運営の実施に際し、適用可能性がある民間活力事業手法について整理し、比較検討する。

②事例調査

(3)と併せて本計画の参考となる国内事例を複数案調査し、概要を整理する。

(8) 策定検討委員会の運営支援

①策定検討委員会資料の作成支援

検討委員会に出席し、議事録作成等を行う。また、検討資料の作成を支援する。

②策定検討委員会の意見の整理

検討委員会における意見を、計画検討の諸段階ごとに整理し、意見への対応等の検討について支援する。策定検討委員 10名程度

H27年12月末までに計6回程度開催、その間にパブリックコメントを実施

(9) 打合せ協議

打合せ協議は、業務着手時、構想検討中間時、基本構想とりまとめ前、基本計画検討中間時、納品時の5回を予定する。

その他、必要に応じ、適時担当職員と連絡・調整を行うものとする。

なお、業務着手時、構想とりまとめ時、納品時については、管理技術者が出席するものとする。

(10) 業務報告書の作成・納品

以上をとりまとめ、検討資料等を整理した、業務報告書を作成する。

納品数は次のとおりとする。

・印刷製本 10部 ・PDFデータ (CD-ROM) 1枚

10 業務スケジュール (予定)

年・月	業務項目	備考
H27/6	○基本構想 (計画) 策定検討委員会設立 ○基本構想 (計画) 策定支援業者選定 (7月中旬目途)	
7 下旬	○支援業者準備 (現状把握、先進事例調査、前提条件整理) ○策定検討委員会 (第1回)	
8 中旬	○策定検討委員会 (第2回)	
9 月上旬	○策定検討委員会 (第3回)	

9 下旬	○策定検討委員会（第 4 回）※素案作成	二役中間報告
10 下旬	○策定検討委員会（第 5 回） ※概算工事費を H28 年度予算に反映	
11	（パブリックコメント募集）	
12	○策定検討委員会（第 6 回）	二役・議会報告

【参考】

H28/1	○基本・実施設計開始	
-------	------------	--

◎策定検討委員会の進め方

（第 1 回）全体委員会

（第 2 回）青少年センター・創造ファクトリー個別委員会

（第 3 回）青少年センター・創造ファクトリー個別委員会

（第 4 回）全体委員会

（第 5 回）青少年センター・創造ファクトリー個別委員会

（第 6 回）全体委員会

※全体委員会は公開とする。

11 業務期間

契約締結の日から平成 28 年 1 月 29 日（金）予定

12 貸与資料

- ・旧二葉中学校竣工図（建築、電気設備、機械設備等）、耐震診断報告書ほか
- ・大畑少年センター竣工図（建築、電気設備、機械設備等）
- ・その他必要なもの